

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2011年7月31日現在

概況 ワシントン州東部の2011年7月31日に終わる1週間の気象は、日中の気温は上がり、平年より低目の気温であったが高温・乾燥気象であった。EC地区の最高気温は90~91度Fであり平年より多少低目であり、平均気温は平年を2~6度F下回った。1週間の降水量は0.04~0.24インチであった。SE地区の最高気温は90~101度Fであったが、最低気温が43~52度Fと低く平均気温は平年を3~4度F下回った。同地区では降雨は記録されなかった。1週間の州平年農作業稼働日数は6.8日(前週:5.9日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は前週より“Short”が増えたが、土壌水分は5年平均より極めて良い状態が続いた。2011年産冬小麦の収穫開始は、土壌水分が例年より高いことより、枯熟が遅れており、収穫は3週間以上平年より遅れていた。その中でWalla Walla郡では収穫が進み郡の凡そ25%にて完了した。Asotin郡では収穫は平年の3週間遅れと報告された。Whitman郡の多くの圃場が1週間先の収穫を予想していた。全州平均では冬小麦の収穫は7%(昨年同期:21%、5年平均:32%)にて完了した状態であった。冬小麦の単収は良好と報告された。春小麦は日中の高温により登熟が進んだが、Whitman郡にて平年より約2週間の遅れで収穫が始まった。土壌水分が多かったことより、倒伏した小麦が多く、収穫を遅らせる原因となった。春小麦の作柄は昨年より低い評価であり、又前週より落ちた。

2011年7月31日現在：土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	2	24	65	9
	Last week	2	17	64	17
	5-Yr Ave.	19	40	41	0
Subsoil	This week	1	30	68	1
	Last week	1	14	82	3
	5-Yr Ave.	14	40	47	0
Irrigation	This week	0	0	88	12
	Last week	0	0	93	7
	5-Yr Ave.	1	4	95	0

2011年7月31日現在：冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Harvested	7	2	21	32

2011年7月31日現在：冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	2	15	61	21
Last week	0	2	18	51	29
Last year	NA	NA	NA	NA	NA

2011年7月31日現在：春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	96	92	100	100
Harvested	0	0	5	12

2011年7月31現在：春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	5	31	55	8
Last week	1	1	15	68	15
Last year	0	3	18	60	19

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, NASS, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2006,2007,2008,2009 and 2010 Crop year.

以上